

NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ  
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

## 《ささえあい》

6月号

事務所 〒666-0015 川西市小花2丁目25-1

TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com

HP [ナルク宝塚・川西] 検索



会員数 5月31日現在

147世帯・会員208名・賛助会員13名

## 第26回定時総会のご案内

代表 厚東信之

平素より会員の皆様にはナルク活動へのご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。今回3年ぶりに皆様と一堂に会しての定時総会を開催することに致しました。

コロナ感染者が高止まりしている状況を勘案、開催に当たってはマスクの着用、密を避ける、参加者には消毒と検温の実施を条件に踏み切るものです。又開始時間を1時間繰り下げ、終了時間も1時間繰り上げて極力短時間の開催といたします。

久し振りに顔を合わせてお互いの元気を確認できることが目的の一つで、本会報に同封の定時総会議事次第を当日ご持参いただくと共に出欠ハガキを期限までにご返信いただければ幸いです。

当日は午前中に総会を実施し、賛助会員のご挨拶を頂いた後、昼食を終えてから近況報告等行い、午後は講話を1時間聴講後、落語と同好会のコーラスでお楽しみいただき午後3時を目途に終える予定です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。尚ご出席が無理な方も多くいらっしゃるかと推察いたします。同封の定時総会議事をお読みいただき、議案をご承認頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 【皆さんの活動データについて】

事務局

3月までは活動された皆さんや、「うぐいすの森」さん、「宝塚ちどり」さんにお渡ししていましたが、「利用・提供・活動実績と運営寄付金の案内」の配布については、ナルク全体のシステムが変更となったため4月からのデータの印刷がシステム操作に不慣れなこともあり当面配布することが出来ません。

鋭意システム操作を理解して以前と同様のデータを配布出来るようにフォローしていきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

## 【同好会のお知らせ】

「開催内容変更のお知らせ」

事務局

名 称	リーダー名	連 絡 先	開 催 日	時 間	場 所
朗 読	松野綾子	072-757-6580	第3(水) → 第4(火)	13:00~16:00	事務所
洋 裁	比谷光子	090-3998-4507	第1(水) → 第1・4(水)	10:30~15:00	事務所

※ 来月に全部の同好会をお知らせします。



## 【野菜作り 奮闘記】

鶴崎俊雄 (猪名川)

「あっ、やられた～」と今年も叫んでしまいそうな季節がやって来ました。猪名川町の里山で約 80 坪の休耕田を借り、野菜作りを始めて約 30 年。6 月、7 月は野菜・果物の収穫期です。この地区は猪・鹿・アライグマ・カラス等多く、毎年被害にあうのでメタルの柵やネットで防護対策をしているのですが、彼らは中々賢く勝てません。

昨年もある日の夕方、完熟した初トマトを収穫したいと思い意気揚々と仕事から帰り、翌朝、ワクワクしながら畑に近づくと不吉な予感。カラスが「今頃来たって遅いよ」とでも言いたげに「カア～」と鳴きながら逃げていきました。畑に行くと案の定、真っ赤に完熟したトマトを食べたり、かじられたりでがっかりでした。トマトのみならず、スイカ・キュウリ・トウモロコシも被害を受け、また、猪にはカボチャ・サツマイモを、鹿にはナスの若芽、ニンジンの若芽など食べられたので、今年こそは美味しい果物・野菜を食べたく防護柵を頑丈にしたところですよ。

畑の作業は良い運動になり、気分転換にもなり、何らかの収穫がありました、彼らとも共存しながら、体が動く限り継続し楽しみたいと思います。

蛇足ですが長年、野菜作りをして驚いたことがあります。昨年の夏に里芋に花が咲きました。初めてなので「タキイ種苗」に尋ねると、里芋は南方が原産地なので咲くことはあるそうですが、日本では珍しいとのこと。写真をご覧ください。黄色で水芭蕉の花のようです。



## 【5 月の入会者】

事務局

※ 平田恵美子さん 川西市平野 色々な行事に参加して楽しんでください。

## 【今後の行事予定】

事務局

6 月 19 日 (日)	第 26 回定時総会	11:00~15:00	宝塚東公民館
6 月 20 日 (月) ~ 7 月 8 日 (金)	20 周年かわにしフェスタ	9:00~20:00	川西市市民活動センター

## 【時間預託活動と点数】

事務局

	仕事 援助	家事 援助	受託 事業	送迎	事務所 当番等	コーディ ネート	講師	活動 合計	活動 会員数
5 月	32	29	28	2	55	2	4	152	20
4~5 月累計	53	53	56	5	109	4	8	288	38

## 【5 月度の運営委員会も Zoom 会議としました】

事務局

## 「4 月活動報告」

- ・ 仕事援助 (庭仕事: 大野) 利用者: U さん  
提供者: 大野さん
- ・ 家事援助 利用者: T さん  
提供者: 田川・小幡さん
- ・ 介助・送迎(大野) 利用者: A・TJ・TS・Y・K の皆さん  
提供者: 田川・渡辺・小幡・安岡・大野の皆さん

- ・受託事業：宝塚ちどり（平塚） 喫茶サービスは 2020 年 3 月以降コロナ禍で休み  
依然として外部の人の出入りは一切禁止
- ：うぐいすの森（厚東） 8 日間フルに活動 提供者：小幡・厚東・厚東恵美子・多田・  
柳田・北川・木下・田川・米田・狩野の皆さん

## 「議題」

- 1) 第 26 回定時総会について（厚東）…… 6 月 19 日（日） 宝塚東公民館 11:00~15:00  
\*開催の報告：資料と出欠のはがきの作成（厚東・中田）  
\*講話：宝塚ちどりさんに依頼済み……「題目」……在宅介護、介助などについて  
\*弁当の手配  
\*アトラクション実施の方向：4 役で内容決める
- 2) 次期運営委員候補者について（厚東）……中尾俊充さん受諾、長尾孝子さん再度説得
- 3) 本部総会について（厚東）……5 月 31 日（火） 13:30~16:30 厚東代表出席
- 4) 4 月 15 日ナルクデー中止の件（米田）……米田さんの都合により  
今後 4 月 20 日のナルクデーはどうするか 多拠点の活動を参考に  
2 月の猪名川クリーン作戦は対象にできないか……代表が本部に確認
- 5) 4 月以降の新システムについて（中田）……うぐいすの森も活動費の請求書や会員の活動データが  
アウトプット出来ない 会報で会員に知らせる

## 【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

## 「伊丹」

狩野 勇（伊丹）

## 「市立伊丹ミュージアム」

会報“ささえあい 令和 3 年 2 月号（第 296 号）”に、「みやのまえ 文化の郷 伊丹郷町館“を紹介しましたが、その近くに令和 4（2022）年 4 月に博物館機能を移転して、柿衛文庫、伊丹市立美術館、伊丹市立工芸センター、伊丹市立伊丹郷町館、そして伊丹市立博物館を統合し、歴史・文化・芸術の総合的な発信拠点「市立伊丹ミュージアム」が開館しました。

本ミュージアムは、美術・工芸・俳諧・歴史の各分野におよぶ資料の収集保存と活用、幅広い世代が楽しめる様々な展示会をはじめ、講座やイベントなどの教育普及活動、伊丹の酒造りを伝える旧岡田家住宅・酒蔵（国指定重要文化財）と旧石橋家住宅（県指定有形文化財）の継承と公開など、多彩な芸術文化を市内外に広く発信されます。そして、みんなのミュージアムとして親しまれることを目指して付けられた「I/M（アイム）」という略称のもと、芸術文化を通して「人」と「まち」をつなげる活動が行われます。

<アクセス> 阪急伊丹駅下車、北出口または東出口より北東へ徒歩約 9 分

JR 伊丹駅下車、北西へ徒歩約 6 分

（伊丹市の資料より）



## 【ナルクゴルフの結果】

幹事：諸岡茂昭（川西）

5 月 20 日（金）絶好のゴルフ日和の下、能勢 CC にてナルクゴルフを 4 組で行いました。結果は下記のとおりです。

優勝	諸岡茂昭	ネットスコア	79
2 位	上西玲子（初参加）	”	73.6
3 位	徳永征敏（ ” ）	”	76.8

初参加の上西さんが 1 位、2 位にやはり初参加の徳永さん、3 位も初参加の廣瀬さんでしたが、規定により初参加者は順位を繰り下げました。

ニアピン賞は北岸さん、加留部さん、西本さん、諸岡、BB 賞は寒川さんでした。

次回は 10 月 21 日（金）能勢 CC で行います。

「参加者」：厚東信之・上西玲子・徳永征敏・北岸松男・西本達也・鷲北正治・寒川吉文・大野晏稔、  
豊田静子・加留部信之・諸岡茂昭・中田年平・長尾孝子・廣瀬眞知子・岡崎裕子の皆さん



栃木県足利市の書家相田みつをさん(平成3年67歳で死去)の書に「トマトがトマトであるかぎりそれはほんもの、トマトをメロンに見せようとするからにせものとなる」とあります。

フィリピンの国のことわざに「トマトを植えてもマンゴーは育たない」とあるらしい。子が親に似るのは避けられないことの例えだという。その国のかつての独裁者マルコス元大統領は衆人環視の空港での政敵暗殺や反体制派市民の殺傷を行った。また宮殿に残されたイメルダ夫人の靴コレクションなど、一族の国家私物化による不正蓄財が数々ある。

36年前の1986年に民衆蜂起によって国を追われたが、責任の追求はまったくされないままに亡命というよりもハワイへの逃亡であったことは世界中に知れ渡っている。今年の5月長男のマルコス氏が大統領選を圧勝した。フィリピン人の記憶力はどうなっているのだろうか。当時の悪政を記憶している者には不可解以外の何ものでもない。

さっそく時事川柳によせられていた一句「フィリピンでまたも靴屋が笑いそう」とあったが笑えそうにもない。日本からはトマトがマンゴーに育つことを祈るしかないのだろうか。

(5月23日読売新聞の記事を引用)

## 文芸コーナー

### 【真に道を志す者】

吉田松陰 一日一語



### 『訳』

「本当に人としての道に志した者にとつては、飲食街で遊んだり、詩や酒に狂うというような暇は絶対がない」

### 【言葉の由来】

#### 『根ほり葉ほり』

しつこく尋ねて詮索することいい、漢字では「根掘り葉掘り」と書きます。「根ほり」とはすっかり掘りつてしまうことです。何から何まですべて」という意味が含まれています。「葉掘り」は、ゴロをよくするためにつけたものですが、協調の意味もあります。また、「事前工作」という意味の「根回しも」も植物の根から来ています。これは、植木の移植法の一つで移植する一、二年前に、枝の周囲を掘って、主要の根以外を切っておけば、枯らさずに移植が行えるというものである。

### 【俳句】、

『悠久の巨樹生くる郷田水はる』

杉木妙子

### 【短歌】

『雨後に咲くハルシオン草原を占めて白きよ街が明るい』

松野綾子

### 【編集後記】

5月28日(土)、昆陽池公園でのホタル観察会に3歳の孫を連れて行きました。ホタルを観るのは4年前にホタルの里親になって以来でした。里親の時は5つの幼虫にカワニナを与えて大きくしたのですが、成虫になって川に放したのは1つのみでした。子どもの頃(約70年前)、夏の夕方になると川網と虫かごを持って近くの川によく取りに行ったのが懐かしく思われました。日本には約50種類のホタルがいるようですが、多分源氏ボタルだっと思います。

因みに猪名川の河川敷で飛んでいるホタルは姫ボタルです。

日常生活において、より良い未来のためにできるところから取り組んで、身近なところでホタル狩りができるようにしたいものです。

(狩野記)